



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 89 号

R4.12.2

文責 中西 勉



【2年】学年レク「台風の日」 ～勝負に負けても見られた確かな成長～

先週11月25日（金）に、2年生が学年レクで「台風の日」という競技を行いました。2年生は、こうした学級対抗競技を学期に1～2回計画し、毎回優勝トロフィーをかけて真剣勝負を繰り広げています。3度目の勝負となった今回は、大接戦の末に2組が勝利を収め、3連勝を飾りました。1組と3組は、「打倒2組」という目標を掲げて練習を重ね、本番でも果敢に挑みました。しかし、今回も2組の総合力が一枚上手だったようです。

今回、3組は最下位に甘んじました。しかし、練習でのベスト記録4分42秒を17秒も縮め、4分25秒というすばらしい記録を出しました。勝負が終わった後、私は3組の子供たちに「他の学級と勝負して、それに勝つことも大事だけれども、一番大切なのは、“昨日の自分に今日の自分が勝つ”こと。それができた3組はすばらしいし、それが自分の成長につながるんだよ」と話し、彼らの健闘を大いに称えました。「勝負に勝った」という結果よりも、「勝負に勝とうとして努力し、協力する」過程で、子供たちは成長できるのだと思います。3組の子供たちの真摯な姿を見て、改めてその思いを強くしました。今後の2年生の熱い戦いに挑む中での成長に注目です。



▲「台風の日」でしのぎを削る2年生



【サッカーW杯】「ドーハの歓喜」再び！～最後の1ミリまであきらめない執念の勝利～

本日の早朝、森保ジャパンが再び日本中を歓喜の渦に巻き込みました。今大会の優勝候補の一角である“無敵艦隊”スペインに、ドイツ戦と同様に、2-1で劇的な逆転勝利を収めました。前半は、スペインの一方的な試合でしたが、後半になって日本の動きが明らかに変わりました。そして、後半3分に堂安律選手が同点ゴールを、後半6分には田中碧選手が逆転ゴールを決めました。特に、2点目のシーンは、ゴールラインぎりぎりのところから三笥薫選手が左足で執念のセンタリングを上げたのが決勝点につながりました。このプレーは極めて微妙な判定となり、VARで審議されましたが、ミリ単位のレベルでボールはゴールラインにかかっており、2点目のゴールが認められました。



▲三笥薫選手が執念のセンタリングを上げる劇的なシーン（読売新聞より）

世界ランク 24 位の日本が、11 位のドイツと 7 位のスペインを相次いで破ったことは奇跡かもしれません。しかし、「あきらめなければ道は開ける」ことを、これらの試合から大いに学びたいと思います。